



2024年2月14日

各 位

会 社 名 TOPPAN ホールディングス株式会社
代表者名 代表取締役社長 CEO 磨 秀晴
(コード番号 7911 東証プライム市場)
問合せ先 取締役常務執行役員 CFO 財務本部長 黒部 隆
(電話番号 03-3835-5665)

2024年3月期 通期連結業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績動向等を踏まえ、2023年11月13日に公表しました連結業績予想を下記のとおり修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 2024年3月期 通期連結業績予想数値の修正(2023年4月1日~2024年3月31日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	1,645,000	78,000	77,000	68,000	216.18
今回修正予想(B)	1,645,000	70,000	73,000	68,000	216.18
増減額(B-A)	—	△8,000	△4,000	—	—
増減率(%)	—	△10.3	△5.2	—	—
(ご参考)前期実績 (2023年3月期)	1,638,833	76,636	81,172	60,866	185.07

2. 修正の理由

情報コミュニケーション事業分野では、DX 領域である当社「Erhoeht-X(エルヘートクロス)」事業への転換をさらに進めるため、基盤整備の先行投資を強化しています。事業規模は一過性影響を除くと着実に拡大しているものの、当初の想定よりもスケール化に時間を要している状況です。

また、生活・産業事業分野では、グローバルパッケージ事業で上期に発生したインドネシアでの製造設備トラブルや、インフレによる欧米を中心とした市況悪化の影響が下期も継続しています。

エレクトロニクス事業分野では、半導体市況の回復が遅れる中においても、半導体関連を中心に好調を維持し、当初の想定を上回る見通しです。

以上の状況を鑑み、営業利益につきましては前回の予想数値を下回る見込みとなりました。

経常利益につきましては、上述の営業利益の減少に円安による為替差益の影響を考慮しております。

親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、政策保有株式の更なる縮減による投資有価証券売却益の増加を見込み、前回の予想数値を据え置くこととしました。

※上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、今後の様々な要因により当該予想値とは異なる結果となる可能性があります。

以上